

平成 29 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社フジタコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 藤田 博章
 (コード番号 3370)
 問合せ先 専務取締役 清水 清作
 (TEL0144-84-8888)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ平成 28 年 5 月 13 日に公表した業績予想を下記の通り修正することをお知らせいたします。

記

1.平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,022	120	76	57	40.06
今回修正予想(B)	4,778	▲9	▲65	▲140	▲96.79
増減額(B-A)	▲243	▲130	▲141	▲197	
増減率(%)	▲4.9	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	5,149	94	55	43	42.92

※上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

2.修正の理由

平成 28 年 11 月 11 日に公表した通期業績予想においては、主力事業のひとつであるミスタードーナツ事業においては、コンビニエンスストアによるドーナツ販売や消費者ニーズの多様化などにより売上減少傾向が続いている中、昨年 11 月より定番商品の値下げによる「手ごろ感」の創出、12 月のソフトバンクコラボキャンペーン、原価及び経費のコントロールなどによる収益改善や自遊空間事業においては夏場以降の集客低下をハイスペックパソコン設備の入れ替え、バーチャルリアリティ機器の導入等による収益改善、及び業務資本提携先である㈱アスラポート・ダイニングと中長期的に発展可能な業態への転換や新規ブランド店舗の出店を念頭に、業態、出店時期、出店数等を協議検討中であったため新規出店については期首計画においては計画外でありましたが、業態、出店時期、出店数が決まり、新規出店をし下期の増収増益を見込むことで通期予想の修正は行っておりませんでした。

しかしながら、新規出店については、第 3 四半期会計期間において集中的に出店したことで人員確保をはじめとする開業費用が想定以上に膨らんだことによる利益減 15 百万円や、ミスタードーナツ事業、自遊空間事業及び外食事業のロードサイド店舗中心に年末年始など繁忙時期に大雪などの天候不順による客足減によって収益が落ち込んだことなどから、第 2 四半期累計期間までの営業利益差異 55 百万円の改善は見込めず、通期において営業利益差異 77 百万円が見込まれること、飲食事業において下期計画外の業態変更や閉店等により売上計画 243 百万円、利益計画 38 百万円の差異が生じる見込みであること等、第 3 四半期会計期間までの営業推移等を検討した結果、売上高 243 百万円、営業利益 130 百万円、経常利益 141 百万円、四半期純利益 197 百万円、前回予想を下回る見込みとなりましたため前回の予想を修正いたします。

以 上